



みどりがおか

《教育目標》自主・協同・健康

「強く・優しく～卒業式式辞から抜粋～」 坂井輪中学校長

卒業生の皆さん、9ケ年の義務教育、そして3ケ年の中学校生活、お疲れ様でした。学び・鍛え・楽しんだ中学校生活も、さ決して楽しいことばかりではありませんでした。

特に、1年生の1月からは、能登半島地震の被害により、これまでの中学校生活の在り方を大きく変更せざるをえませんでした。

近隣では坂井輪中のみ突き付けられた厳しい状況の中、日々の授業はもちろんのこと、青松祭や合唱祭などの学校行事、生徒会活動などあらゆる活動に、これまでの当校の歴史にはなかった新しい発想と取組が求められました。

そのような多くの困難を乗り越えながら、今日を迎えた皆さんに、私は心から拍手を送ると同時に、「よく頑張ったね、そして、坂井輪中を再興してくれて、本当にありがとう」という感謝の気持ちでいっぱいでもあります。

人間の能力は、何よりも経験から得た力こそが本物です。皆さんは、これから間違いなく、さらに一歩厳しい社会へ踏み出すこととなりますが、これまでの努力・頑張りから得た「本物の自分の力」を胸に刻み、自信をもって新しい世界に挑戦し、自分自身が納得できる人生を創り上げてください。

卒業という節目にあたり、卒業生の皆さんに私からメッセージを贈ります。それは、「強く・優しく生きてほしい」ということです。

「強く生きてほしい」とは・・・

これからの時代は、ICTや生成AIのさらなる急速な発達・普及などに伴い、社会構造や文化・習慣が大きく変化し続ける、これまでに誰も経験したことのない時代です。その時代にあっては、これまでのような他者との競争や比較ではなく、「なりたい自分の姿」をしっかりとイメージし、自分の信じる道を見付け、何事にも「自分ならどうするか？」を考えながら、自分自身で歩み続けて行かなければなりません。その過程で、つらいこと、しんどいこと、泣きたくなるようなことが、皆さんの前に次々と表れます。そのような困難にぶつかったとき、決して誰かのせいにせず、へこたれず、状況を深く考え・工夫した人こそがそれを乗り越えられるのです。なりたい自分に到達するためには、そのような努力を継続しなければならないのです。

しかし、努力すれば必ず報われるとは限りません。それが現実であり、一番の問題なのです。そのような場面にあっても「なりたい自分の姿」をあきらめず、投げ出さずに懸命に歩む人には、必ずよき理解者・協力者が現れて、いざというときには手助けをしてくれるのです。健気にがんばる姿に心をうたれるからです。だからこそ、皆さんには、困難に負けず、考え・工夫し・乗り越えながら、「なりたい自分」に必ずなれることを信じ、強く生き抜いてほしいのです。



「優しく生きてほしい」とは・・・

人は誰も、一人では生きていけません。周囲の人々からの支えが欠かせません。支えてくれる人が多ければ多いほど、それは大きな財産となります。自分を支えてくれる人を一人でも多く見付けることは、皆さんの人生を豊かにするためにとても重要なことです。

そのために、心がけてほしいことが3つあります。

- 多くの人々と笑顔で接すること
- 広い心で、相手を許してあげること
- 常に、相手の立場に立って考えてあげること

いかがですか？ぜひ、これらのことを心がけながら優しく生きてほしいと思います。

卒業生の皆さんが、これからも自分らしさを大切にしながら、長い長い人生を「強く・優しく」歩み続けてくれることを願っています。



卒業式では、在校生代表生徒が「送辞」を、そして卒業生代表生徒が「答辞」を述べました。全文を紹介します。

送 辞

雪は解けても、寒さが残る日々。冬の厳しい天気からやわらかな春へとうつりかわろうとしています。このやわらかな春の陽射しは、まるで卒業される皆さんを祝福しているかのようです。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

さて、卒業生の皆さんにとって、坂井輪中学校の学校生活はどのようなものだったでしょうか。皆さんが1年生の終わり頃、能登半島沖地震が発生し、その影響から部活や行事などの活動が制限され、思うような学校生活が送れなかったこともあったと思います。しかし、それらの困難にも負けることなく、逆に乗り越えてきた皆さんは、後輩の私たちから見てとても格好よく、まぶしい先輩たちでした。

青松祭では、最初から最後まで綿密に計画を立て、クラス連合から4チームに分かれての新しい試みも完璧に運営し、リーダーシップを発揮されて、学校全体で「この行事を成功させるんだ」と大いに盛り上げていただきました。また、競技や応援にも3年生の皆さん一人一人が力を入れ、白熱した戦いを繰り広げたことは忘れることができません。

先輩たちから特に学んだことは、リーダーシップを発揮するばかりではなく、常に改善点を見つけ、反省し、きちんと修正してみんなと向き合い、引っ張ってくださったことです。本当に忘れられません。ぜひ来年度以降にも活かしていきたいと思います。

合唱祭では、練習時間が少ないことを一切感じさせない壮大な歌声で、会場が包み込まれ、一人一人の思いのこもった素晴らしいハーモニーが私たちに感動を与えてくださいました。皆さんの歌声は、厳しい状況にも負けず、常にクラスごとが一丸となって一つのことをつくり上げる素晴らしさを私たちに教えてくださいました。感動をありがとうございます。

そして、普段の学校生活でも、私たちのよい見本となってくださいました。生徒会本部での活動、委員会活動、部活動といった場面で、いつでも周りのことを意識してみんなを支えてくださり、自分の仕事や練習にも励んでいました。いつでも優しく接してくださった先輩たちには感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

これから私たち在校生は、先輩方から教えていただいたことや先輩方が築いた伝統をしっかりと守り抜き、そして私たちもまた新しい歴史をつくっていきたいと思います。そして、先輩たちのように後輩たちのよい見本となり、坂井輪中学校をより発展させていくことを誓います。

最後になりましたが、卒業生の皆さんの益々のご健勝とご活躍を祈念して送辞といたします。



答 辞

穏やかな春の光に包まれ、私たちは今日卒業の日を迎えました。本日はご多忙の中、私たち卒業生のために、このような素晴らしい式を開いていただき、来賓の皆様、そして保護者の皆様に、卒業生を代表して心より感謝申し上げます。

この3年間の中学校生活で過ごした思い出はとても色濃いものでした。

1年生。入学当初、着慣れない制服を纏い、新しい友達と過ごす中学校生活はとても新鮮でした。不安を抱えながらも、1日はあっという間で、新しい環境での毎日は楽しくて仕方ありませんでした。しかし、その後の能登半島地震後のリモート生活。アイパッド越しで授業を受ける毎日が続き、こんなにも友達に会いたい、学校に行きたいと願う日々はありませんでした。

2年生。待ちに待った修学旅行。計画を立てたり事前学習をしたり、出発までの時間はとても長く感じたのに、実際の3日間は本当に一瞬でした。胸をドキドキさせながら新幹線に乗り込み「楽しみだね。」と笑い合った時間は、夢の中にいるようでした。ディズニーランドで、友人と一緒にカチューシャをつけて、アトラクションを巡ったことや、テーマ学習で訪れた数々の場所で学んだことは、決して忘れることはないでしょう。

3年生。中学校生活最後の合唱祭。まだ暑さが残る中での練習は、期間も短く苦労が多かったことが思い出されます。しかし、だからこそ得られたクラスのみんなとの友情の絆が、美しいハーモニーとなってコンサートホールに響き渡りました。さらに、2年ぶりの坂中グラウンドでの青松祭。7連合から4連合への変更で不安もありました。しかし私たちは、連合長の熱い応援とリーダーシップのもと、多くの仲間と学年を超えた繋がりを体感することができました。

卒業生の皆さん。私たちは今日までの3年間、いろいろな思いを抱いて過ごしてきました。ともに過ごしてきたみんなども、今日でお別れです。絶対に一人では挑戦できなかったことにも、仲間となら挑み、壁を乗り越えることができました。仲間というだけで、不思議と希望や勇気、笑顔をもらえました。最高の仲間と出会えたからこそ、こんな素敵な青春を送ることができました。みんな、本当にありがとう。1日でも長く、ここでみんなと過ごしていたのですが、私たちは新しい未来へと進んでいくために、今日をもって坂井輪中学校を巣立ちます。いつの日か成長した姿で、また会いましょう。

そして、こんな私たちを3年間支え、いつもそばで見守ってくださった先生方。先生方がいなければ、私たちはここまで成長することはできませんでした。心から感謝いたします。

また、本日お越しのご来賓の皆様をはじめ、地域の皆様にも大変お世話になりました。私たちを温かく見守ってくださったことは、私たちにとって、大きな安心となっていました。

今まで育ててくれたお父さん・お母さん、そして家族。本当にありがとうございました。これまでたくさんの心配をかけてきましたが、これからは、親孝行ができるように一生懸命努力していきます。引き続きどうぞよろしく願いします。

在校生の皆さん、今日はありがとう。私から皆さんに伝えたい言葉が一つあります。

「まだ消しちゃいけないよ、ちっちゃな希望を、なんとか信じて、信じてほしい」

この言葉は、ミセスグリーンアップルさんの「ソランジ」という曲の一節です。困難なことがあっても、絶対大丈夫。このフレーズのように、どうか皆さん諦めず粘り強く、より良い坂中を作っていくてください。私たちは信じています。

私たち卒業生219名は、たくさんの方々への感謝と、中学校での学びと思い出を胸に新たな道へと歩んでいきます。

最後に、坂井輪中学校のさらなる発展と在校生の皆さんのご活躍、ご健闘を願い、答辞といたします。



1・2年生から卒業生へのメッセージです。卒業生のみなさんのこれからの活躍を祈っています。

令和8年度のリーダーが決定しました

“和光会”（坂井輪中学校生徒会）の新しいリーダーが書記局員・専門委員長も含め、決まりました。リーダー研修会を経て、すでに動き出しています。新入生とともに新しい坂井輪中の歴史を創ってくれることを期待しています。

お世話になりました

この度の異動により、16名の教職員が転出いたします。大変お世話になりました。



< 4月の主な予定 >

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 3日(金) 新3年生学級発表 (9:00~) | 15日(水) 中央専門委員会 |
| 新2年生学級発表 (10:00~) | 17日(金) 全校交通安全教室 |
| 新入生オリエンテーション (13:20~) | 21日(火) 3年修学旅行 (~23日) |
| 7日(火) 始業式, 入学式 | 27日(月) 3年全国学力調査 (国・数・英) |
| 8日(水) 給食開始, 生徒会オリエンテーション | 30日(木) 3年全国学力調査 (英 話すこと) |
| 9日(木) 身体計測 | |